平成25年度予算見積調書

課室名：農業ビジネス支援課
担当名：農地活用・企業参入支援担当
内線：4093

（単位：千円）

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
B21	見沼農業活性化対策事業	一般会計	農林水産業費	農業費	農業振興費	見沼農業振興対策費

事業期間	平成12年度～	根拠法令	なし	戦略項目	08　埼玉農業の競争力強化
				分野施策	040101　みどりの再生（身近な緑の保全・創出・活用）

1　事業概要

　貴重な都市近郊緑地空間である見沼田圃を保全・活用・創造していく上で、見沼農業が果たす役割は極めて重要となっている。
　このため見沼農業の振興対策や支援体制の整備及び公有地化農地活用対策を実施し、見沼田圃の保全・活用・創造を図る。

（１）農業経営指導事業　89千円
（２）見沼農業支援体制整備事業　2,854千円
（３）公有地化農地活用対策事業　35,201千円

2　事業主体及び負担区分

（県10/10）

3　地方財政措置の状況

なし

4　事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×0.75人＝7,125千円

5　事業説明

（１）事業内容
　ア　農業経営の振興対策　89千円
　　見沼田圃における農業経営及び生産技術の指導を行う。
　イ　見沼農業支援体制の整備　2,854千円
　　市民農園教室や農業体験教室など都市住民による農業体験イベントの開催や、農地調整活動等の業務を農林公社に委託する。
　ウ　公有地化農地活用対策　35,201千円
　　公有地化農地の有効活用を図るため、公有地管理業務を農林公社に委託する。

（２）事業計画
　ア　担い手の組織的活動の推進活動、栽培技術研修会等の開催、市・ＪＡ等関係機関との連携会議の開催、地域農業イベントの支援
　イ　市民農園教室の開催、農業体験教室の開催
　　見沼田圃内の農地の遊休化の防止や、担い手へ農地集積を図るための情報収集・情報提供
　ウ　公有地化農地の適正管理

（３）事業効果
　　都市と調和した特色ある見沼農業が営まれることで、見沼田圃の保全・活用・創造に資する。

（４）その他
　　見沼田圃全面積　約1,258ha（うち農地約518ha）見沼田圃内公有地　約29ha

予算額		財源内訳 繰入金						一般財源	前年との対比
決定額	38,144	35,201						2,943	△232
前年額	38,376	35,201						3,175	